

## FOREWORD TO A PROSPECTUS for journal of Musashino university japanese literature institute

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-05-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 三田, 誠広 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://mu.repo.nii.ac.jp/records/510">https://mu.repo.nii.ac.jp/records/510</a>

# 武蔵野大学日本文学研究所紀要／創刊の辞

文学部長 三田誠広

新しい機関誌を創刊するのは、緊張感と同時に、それなりの高揚感があるものです。最初に新しい研究機関の開設についてお知らせします。武蔵野大学では、一つの学部には必ず一つ以上の研究機関を置くというコンセプトのもとに、各学部で新たな研究機関を開設してきました。文学部の場合は、すでに能楽資料センターと武蔵野文学館という二つの研究機関をもっているわけですが、それぞれが扱う領域は「能狂言を中心とした古典芸能」および「関東に限定した近現代文学」というふうに、きわめて限定的なものです。文学部でゼミや演習を担当される先生方の研究領域は多岐にわたっており、この二つの研究機関ではすべてを包含することは困難です。そのため、わたしたちは新たな研究機関として、「日本文学研究所」を開設することにしました。古典文学と近現代文学という文学の領域だけではなく、日本語学、比較文学、日本史学、文芸創作、書道など、ゼミや演習で扱う多様な領域を扱う総合的な研究所です。場合によっては既存の二つの研究機関と重複する領域の研究を、こちらで扱うということも想定しつつ、ここに紀要の創刊号を発行します。当然ながら、この紀要には、さまざまなジャンルの研究成果が掲載されることとなります。他大学の文学部と比べても、きわめてユニークな特色をもつ武蔵野大学文学部の研究者の、多彩な成果をお届けできればと念じています。